

## I. 広東省

### 1 馬興瑞・広東省長が各国の在広州領事団と会見

●9日、馬興瑞・広東省長が広州市で在広州の領事団と会見した。馬省長は、各国の在広州総領事館は積極的に架け橋としての役割を發揮し、広東省と各国の友好交流を深く推し進め、絶え間なく双方の貿易、科学技術、人文、社会サービス等の領域で協力関係を深めたいと述べた。領事団長のウガンダ総領事は、各国は広東・香港・マカオビッグベイエリア発展のチャンスを見ていると見做しており、広東省との結びつきを強め、大湾区建設に共同参加したいと述べた。会見には欧陽衛民・広東省副省長も参加した（10日付「南方日報」1面）。

## II. 広州市

### 1 反腐敗にかかる処分

●9日、広州市紀律委員会・監察委員会は、陳忠謙・広州市政協委員会常務委員を重大な規律違反の疑いで調査中であると伝えた（10日付「広州日報」7面）。

### 2 広州市が年内に5G基地局を1.4万カ所設置

●9日、広州市工業情報化部によれば、年内に5G基地局を1.46万カ所設置する見通しを發表した。広州市では6月末の時点で5,000カ所の5G基地局が設置されている。広州市工業情報化部によれば、2021年までに6万5,000カ所まで増やす見通し（10日付「深セン特区報」9面）。

### 3 広州市で広東省初の中古車輸出前検査を実施

●11日、広州市の華南理工大学自動車検査所で広東省初となる中古車輸出前検査が行われた。初日は中古車販売会社「広州好車公司」の300台の自動車の検査を開始した。12日には300台全ての検査が終わる見込み。「広東好車公司」は6月に3,000台の中古車をナイジェリア、カンボジア、ミャンマー、ロシア等から受注した。中国政府は今年5月に中古車の輸出業務を、広東省を含む10省市に解禁している（12日付「南方日報」6面）。

### 4 広州税関がデング熱の感染急増で注意喚起

●広州税関によれば、今年に入ってから域外からの旅行者のデング熱の輸入性症状を129件確認した。これは前年同期比2.15倍で、6月だけで49件確認された。広州税関は、デング熱は中国人観光客に人気の東南アジアで流行して

いる。同税関は観光客に対し、蚊に刺されないような措置をするよう注意を呼びかけている（12日付「南方日報」7面）。

### Ⅲ. 深セン市

#### 1 反腐敗にかかる処分

●10日、深セン市紀律検査委員会の発表によれば、井亦軍・竜華区元副区长兼公安支局元局長を重大な規律違反の疑いで調査中であると伝えた（11日付「深セン特区報」10面）。

### Ⅳ. 福建省

#### 1 2020年のユネスコ会合が福州で開催

●10日、アゼルバイジャンの首都バクーで開かれた第43回国連教育科学文化機関（以下、ユネスコ）世界遺産委員会が閉幕した。同委員会は、2020年の第44回世界遺産委員会は福建省の福州市で開催することを公表し、田学軍・教育部副部長を議長に選任した（10日付「福建日報」1面）。

### Ⅴ. 広西チワン族自治区

#### 1 南寧市と香港を結ぶ動車が初の運行

●11日、南寧東駅から香港西九龍駅の初の直通便となる動車（比較的高速で運行される鉄道）が運行を開始した。同便は、南寧東駅を出発し、梧州南駅、佛山西駅、広州南駅、深圳北駅を経て、香港西九龍駅に到着する。全行程は3時間59分（11日付「広西日報」1面）。

### Ⅵ. 海南省

特になし。

（了）